



輝け！北っ子

平成29年7月18日発行

7月号特集号

発行責任者 紺野 宗作

集団登校のきまりを守って安全に



本校では、集団登校を取り入れています。集団のため一人になる危険性が少なく、安全が確保しやすくなります。さらに、今の子どもには縦社会がなくなり、人間関係が希薄化していると言われています。そんな中、集団登校という縦割り班活動は、社会性の基礎となる人と関わる力を伸ばすことができる活動です。ぜひ、集団登校の意義を再確認したいものです。



入学したての頃、近所に同級生の友達もおらず、一人で登校させるには不安だったと思いますが、集団登校のおかげで上級生の子たちが迎えに来てくれて、安心して送り出すことが出来ました。

今では、雨の日でもいやがらず楽しく集団登校ができています。



集団登校のおかげで、異学年の友達もたくさん出来ました。今は、班長として責任を持って行わせています。集団で登校することにより、リーダーとして集団を引率する高学年の子供達が、とても面倒見が良くなり、縦割りの学年で非常に結束が強まっているように感じます。それは子供自身の自信を育てる意味もあります。物事をやり遂げる。みんなをひっぱっていく。大人になったときに必要な事だと思います。安全面だけでなく、縦社会を学べるメリットもありますね。



各育成会のみなさまへ

集団登校では、「きちんと並んで歩けない」「集合場所に時間どおりに集まらない」「休みでも連絡がない」など各班様々な課題があります。学校では、班長会を開き、毎日の集団登校が安全にできているかどうか指導しています。

夏休みには、各育成会ごとに夏休みの行事や懇談会が予定されているかと思いますが、裏面の「集団登校のきまり」をもとに、集団登校の意義を再確認し、子ども達と集団登校について話し合う機会を作ってほしいと思います。よろしくお願いします。